

団体名：一般社団法人サイエンスエデュケーションラボ

事業・活動名：誰も取り残さないライブ天体観望会

使途&助成金額：電視望遠鏡購入費用等 134,820 円

【日頃の主な活動】

家や学校とは違った実験や工作などを気軽に体験できる『手作り科学館 Exedra』の運営、小中学生向けのジュニア研究者養成コース「研究部」の運営・指導、小中学生とともに海や山を訪れ自然体験活動を通じて理科に楽しむ「理科の修学旅行」の実施等

【天体観望会概要・助成金使途】

天体望遠鏡を学校等へ持参し、専門家による講義と天体観望会を年間数回開催。また、通常の望遠鏡に加えて、天体の像をカメラで撮影してライブ映像としてディスプレイに映し出すことができる、電視望遠鏡を使用。その電視望遠鏡を助成金で購入しました。

【当日の様子】

天体望遠鏡を今回は小学校に持参し、星空案内を行う天体観望会を開催。定員 30 名のところ、あっという間に申込みがありすぐに満席になったそうです。当日は、親子あわせて 70 名を超える方が参加しました。

都会の空でも星たちが輝かやいていました。体育館で、その日の夜空に見える天体に関して講義をおこなった上で、校庭に出て 1 人 1 人望遠鏡をのぞき、木星、金星、土星、月の観察を行いました。子ども達だけでなく、大人の方達も望遠鏡をのぞいた後、目を輝かせていたのが印象的でした。また、その後再度体育館に戻り、電視望遠鏡で撮影したライブ映像をみたり、振り返りを行う流れでした。

【参加者の声・一部抜粋】

- ・外で実際に見るのも良かったですが、スクリーンにて見られるのが、すごく良かったです。
- ・Live 中継の望遠鏡など、普段みることができないものを見られた点が良かったです。
- ・とても心に残るイベントでした。良い機会をあたえていただき、ありがとうございました。

【感想】

代表の羽村さんは、東京大学大学院で地球惑星科学を専攻し、国立天文台勤務を経て、2018 年に『手作り科学館 Exedra』を設立しました。「科学が応援される社会を作りたい」そんな思いを形にしたのが、科学の専門家が集い、研究や体験を通じて科学とのふれあいを提供している『手作り科学館 Exedra』です。

今年度はおもに小学生を対象に天体観望会を開催してきましたが、今後は医療ケアが必要な方達の施設や児童養護施設、また幼稚園等でも開催していきたいとのこと。天体望遠鏡をのぞき込むことができない方にも、ディスプレイに映し出すことができる電視望遠鏡を活用して天体を楽しむ体験をしてもらいたいそうです。

家庭の事情、身体的な事情など、さまざまな理由から生じている、自然体験の格差を少しでも埋めることができるのであればと、この活動に力を注いでいる羽村さんにとっても頭が下がりました。

「天体観察の面白さ」を体験した子どもたちが、今後夢を実現する原動力の一助となるのではないかと思える、そんな天体観望会でした。

たすけあい委員 古川由美子

